

パワーオンメニュー

■**バックライト設定**
表示部照明の点灯条件を設定します。

設定値	動作
oF	バックライトは常に消灯します。
Ac	キーを操作したときにバックライトが5秒間点灯します。
oN	バックライトは常に点灯します。

■**ビープ音設定**
キーを操作したときに鳴る確認音をビープ音といいます。この機能を「off」に設定すると、このビープ音を鳴らさないようにできます。

設定値	動作
oF	ビープ音は鳴りません。
oN	ビープ音が鳴ります。

■**チャンネル非表示設定**
チャンネル番号やグループ番号を表示させない設定です。この機能を「on」に設定している場合は、【▲】【▼】を押してチャンネルを切り替えると、2秒間切り替えたチャンネルを表示した後、表示が消えます。

設定値	動作
oF	チャンネルを表示します。
oN	チャンネルが非表示になります。

- ビープ音はスピーカーマイクロホンを接続したときに鳴ります。

その他の機能

一度電源を**OFF**にして、指定のキー操作を行うと使用できる機能です。

キー操作	機能
------	----

【▼】+【⓪】	キーロック
---------	-------

【▲】+【▼】+【⓪】	オールリセット
-------------	---------

■**キーロック**
間違えてチャンネル番号やグループ番号を変えないように、キーをロックしておくことができます。キーロック設定されている状態のとき **🔒** が表示します。解除する場合は、再度【▼】+【⓪】を押してください。

キーロック表示	無効操作表示

■**オールリセット**
オールリセットを行うと、設定されている内容はすべて初期の設定状態に戻ります。【▲】と【▼】を押しながら、【⓪】を押して電源をONにし、いずれかのキーを離します。「SURE」と表示した後、【▶】を押すとオールリセットされ、受信待受け状態になります。

全点灯	「SURE」表示	待受け状態

- キーロック中でも、電源のON/OFF、オールリセット操作はできます。
- 【▶】以外のキーを押した場合は、オールリセットしないで、受信待受け状態になります。

保守

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い求めの販売元にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない	本機の電源接続端子にACアダプターが接続されていない。	本機の電源接続端子にACアダプターをしっかりと接続する。
	ACアダプターがACコンセントに接続されていない。	ACアダプターをACコンセントに接続する。
「ERR」が表示している	本機の電源がOFFになっている。	本機の電源をONにする。
	本機と無線ユニットが正しく接続されていない。	本機と無線ユニットを正しく接続する。
「UL」が表示している	本機が故障している。	お買い上げの販売元にお問い合わせください。
	受信中になっている。(受信機)が点灯している)	チャンネルを変更するか、(受信機)が消えるまで待つ。
送信しない	電子機器による電波障害を受けている。	本機から電子機器を離すか、本機を電子機器から離れた場所に設置する。
	本機と無線ユニットが正しく接続されていない。	本機と無線ユニットを正しく接続する。
受信しない	接続ケーブルが破損している。	接続ケーブルを正常なものに交換する。
	送信機からの電波が届いていない。	通信できる距離まで近づけて設置する。
送信機から受信しない	運用モードが違っている。	送信側と受信側の運用モードを同じにする。
	チャンネル設定が合っていない。	送信側と受信側のチャンネル設定を同じにする。
キー操作できない	グループ番号が合っていない。	送信側と受信側のグループ番号を同じにする。
	送信側または受信側いずれか一方のボイススクランブル設定がONになっている。	送信側、受信側ともにボイススクランブル設定をONまたはOFFの同じ設定にする。
何も聞こえないのに(受信機)が点灯する	キーロック設定がONになっている。	キーロック設定を解除する。
	本機と無線ユニットが正しく接続されていない。	本機と無線ユニットを正しく接続する。
表示部の照明が消えない	グループ番号が設定された状態でスケルル設定がOFFになっている。	スケルチレベルを1～3に設定する。
音が出ない(スピーカー接続時)	バックライト設定が常時点灯の設定になっている。	バックライト設定をAct、またはOFFに設定する。
	スピーカーが正常に接続されていない。	スピーカーを正常に接続する。
音が出ない(スピーカー接続時)	音量レベルが「0」になっている。	音量レベルを上げる。
	運用モードが中継器アクセスモードになっていない。	運用モードを中継器アクセスモードに設定する。
中継器にアクセスできない(中継器接続時)	チャンネル番号、グループ番号が中継器の番号と違う。	チャンネル番号、グループ番号を中継器の番号と合わせる。
	中継器との距離が離れすぎている。	通信できる距離まで近づけて設置する。

オプション品

■**スピーカーマイクロホン (SMC-34)**
本機にオプションのスピーカーマイクロホン（別売品）を取り付けることにより、本機から直接、特定小電力トランシーバーとの通信が可能になります。

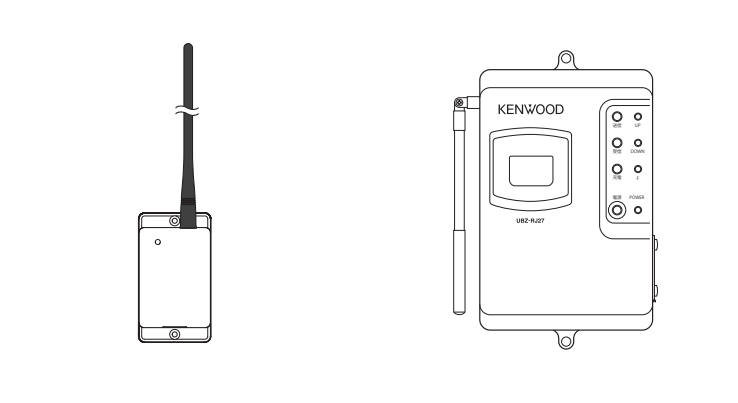


※ オプション品のご購入については、お買い求めの販売元にご相談ください。

関連製品

■**特定小電力無線ユニット (TCB-U830TR)**
本機と接続し、特定小電力無線を利用した無線通信を行うことができます。

■**特定小電力中継器 (UBZ-RJ27)**
本機と併せて設置・運用することで、中継器を介して通信することができます。安定して通信できる範囲が広がります。



※ 関連製品のご購入については、お買い求めの販売元にご相談ください。

仕様

電源電圧		DC：9V ± 10%
消費電流 (無線ユニット接続時) ※1	送信時・・・	最大 110mA
	受信時（VOL7初期値）・・・	最大 140mA ※2
低周波出力 ※3	SP/MIC 端子	90mW 以上（VOL12）
	AUX 端子	13mW 以上（VOL運動なし、固定音量）
変調入力	SP/MIC 端子 ※4	約 5mVrms
	AUX 端子 ※5	約 300mVrms
使用温度範囲		－10℃ ～ ＋50℃
サイズ（H×W×D）		127×70.6×35.5mm（突起物除く）
重量		約 120g

※1 無線仕様に関する定格は、無線ユニット（TCB-U830TR）の取扱説明書をご覧ください。

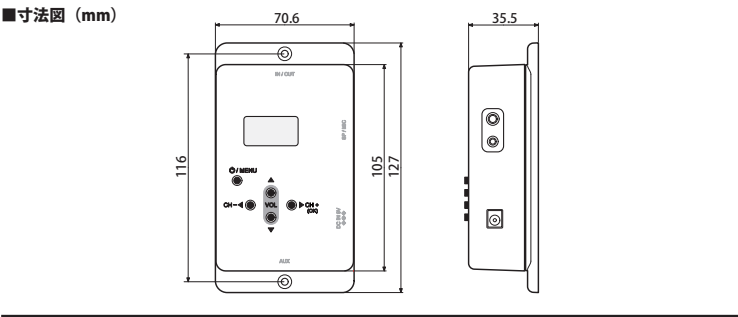
※2 その他条件：変調度 1.5 kHz、AF 1kHz、VOL 設定によって最大消費電流は変動します。

※3 その他条件：16 Ω負荷、変調度 1.5 kHz、AF 1kHz、16 Ω未満の負荷で使用すると、故障の原因となります。

※4 その他条件：入力インピーダンス 1.8 k Ω、変調度 1.5 kHz、AF 1kHz。

※5 その他条件：入力インピーダンス 4.7 k Ω、変調度 1.5 kHz、AF 1kHz。

※ 仕様は予告なく変更することがあります。



株式会社 JVCケンウッド 山形

●**製造元**：株式会社 JVCケンウッド山形
〒 997-0011 山形県鶴岡市宝田 1-15-80
http://yk.kenwood.com/

●**営業窓口**：株式会社 JVCケンウッド山形
TEL (0235) 25-4002
TEL (0235) 25-4002
FAX (0235) 25-0560

無線ユニットコントローラー

KCH-830

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用モデルです。国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド 山形
JVCケンウッド Yamagata Corporation

©B5A-0996-20

安全上のご注意

⚠ 危険	⚠ 警告
■使用環境・条件	■使用方法について
●引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。	●本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
●水などで濡れやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	●本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
●電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤作動の原因になります。	●本機に防塵、防水機能はありません。持ち運びの際は、異物や水滴が入らないようにご注意ください。
●上空、航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、船舶内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。（電源も入れないでください）運行の安全や無線局の運用や放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤作動する原因となります。	●濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。
■ACアダプターの取扱について	●本機に接続できるDC電源の電源電圧は、DC9V ± 10%です。定格電圧を超える機器には接続しないでください。
●AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	●本機のAUX接続端子とIN/OUT端子にネットワーク回線機器は接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●タコ足配線はしないでください。加熱・発火の原因となります。	●本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●濡れた手でACアダプターに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。	■異常時の処置について
●ACアダプターは電源コンセントに確実に挿し込んでください。ACアダプターの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。	●外観が変形、破損している場合は使用を中断し、ご購入の販売店にご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となります。
●ACアダプターは電源コンセントに確実に挿し込んでください。ACアダプターの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。	●内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いが出るとの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
●ACアダプターの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災や感電の原因になります。	●煙が出たら、すぐにACアダプターを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
●雷が鳴りだしたら、安全のため早めにACアダプターを電源コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。	●雷が鳴りだしたら、安全のため早めにACアダプターを電源コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

安全上のご注意

給表示について	
この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。	
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
給表示の例	
⚠	△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
🚫	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
!	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容を示しています。
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。	

安全上のご注意

⚠ 注意	⚠ 注意
■使用環境・条件	■本機の取り扱いについて
●テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。	●本機を持ち運ぶときは本体ケース以外の箇所を持って運ばないでください。本体の破損、落下、けがの原因となることがあります。
●ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落下したり、倒れるとけがや故障の原因となります。	●機械に巻き込まれる恐れのある場所では、注意して取り扱ってください。けがの原因となります。
●直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がると、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。	●落下などにより破損した部品には触らないでください。けがの原因になります。
●湿気が多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。	●車で持ち運びの際は、置き場所に十分ご注意ください。
●結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露が無くなってからご使用ください。	●組立て、取り付けに当たっては、十分なけが防止対策をしてから行ってください。
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。	●接続端子には付属または指定条件のもの以外は接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●接続ケーブルが熱器具に近くなる場所では使用しないでください。ケーブルの破損が溶けて破損します。	■保守について
●長時間使わないときは、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。	●お手入れの際は、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください。
■設置されるとき	●接続端子にピンなど金属片やゴミを付着させないでください。発火・感電・ショート・やけどの原因となります。
●本機を壁に取り付ける際、付属または指定サイズ以外のネジは使用しないでください。本体の落下や破損の原因となることがあります。	●水滴が付いたら、乾いた布で拭き取ってください。汚れたひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナー、ベンジンは使用しないでください。劣化の原因となります。
●接続ケーブルが首や足に巻き付くような場所には設置しないでください。本体の落下、けがの原因となります。	●本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
●濡れた手で本機または、接続ケーブルをさわらないでください。感電の原因になります。	●本体の上部には何も載せないでください。本体の落下・破損の原因となります。

本機の特長

■本機は特定小電力無線ユニット（TCB-U830TR）の設定変更ができる無線ユニットコントローラーです。また、外部機器を接続して各種信号の受け渡しをしたり、別売品のスピーカーマイクロホン（SMC-34）を接続して固定型トランシーバーとして使用することができます。

- 本機は2つの運用モードを選択できます。
- 交互通話モード（シンプレックス）
直接トランシーバー同士で通信するモードです。
20チャンネルに対応し、従来の9チャンネルと11チャンネルのどちらも使用できます。
 - 中継器アクセスモード（セミデュプレックス）
別売品の中継器を介して通信するモードです。安定して通信できる範囲が広がります。
27チャンネルに対応し、従来の9チャンネルと18チャンネルのどちらも使用できます。

ご使用にあたって

■本機は無線ユニット（TCB-U830TR）を接続しないと動作しません。

■本機の接続端子にネットワーク回線機器は接続しないでください。

■本機に接続ケーブルは付属していません。
設置する際は市販の接続ケーブルをお買い求めください。

■本機に防塵、防水機能はありません。
設置場所については、お買い求めの販売元にご相談ください。

■本機にスピーカーとマイクは内蔵していません。
本機で通話する際は、オプションのスピーカーマイクロホン（SMC-34）をお買い求めください。

梱包品の確認

梱包品がすべて揃っていることをご確認ください。

名称	数量
本体	1
ACアダプター	1
本体取付ネジ※	2
取扱説明書（本書）	1
保証書	1

※付属ネジ（鉄板用）：M3×16、頭サイズφ6.3以下）

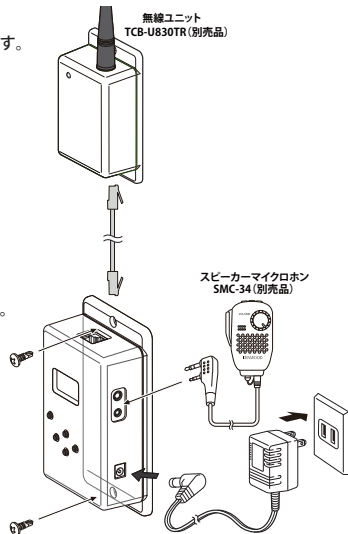
設置と接続

■本機を設置する
設置する場所に本機を固定し、取付ネジで取り付けます。

■無線ユニットを設置する
設置する場所に無線ユニットを固定し、取付ネジで取り付けます。

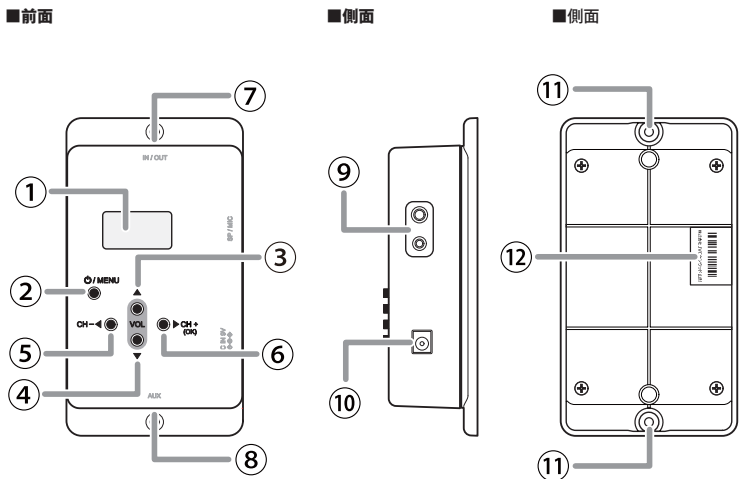
■接続ケーブルを接続する
1. 無線ユニットの接続端子に接続ケーブルを接続します。
2. 本機のIN/OUT端子に、無線ユニットに接続した接続ケーブルを接続します。

■ACアダプターを接続する
1. 本機の電源接続端子にACアダプターを接続します。
2. 電源コンセントに、ACアダプターを接続します。



- <設置に関するご注意>
- 無線ユニットを設置する際は、TCB-U830TRの取扱説明書を参照してください。
 - 本機に付属の取付ネジは鉄板用です。その他の材質に設置する場合、材質に合わせたネジをお買い求めください。
 - 本体の上には何も載せないでください。
 - 本機に防塵、防水機能はありません。水などに濡れやすい場所やほこりの多い場所には設置しないでください。
 - 本機の接続端子にネットワーク回線機器（パソコン、ネットワークハブ、IP電話など）は接続しないでください。
 - 本機に接続ケーブルは付属していません。接続する際は市販の接続ケーブルをお買い求めください。
 - 接続ケーブルは、CAT5e以上のLANケーブル（UTP/ストレートタイプ）、内部導体が24AWG（すずめっき軟銅線0.08mm×50本、220Ω/km以下）と同等以上のものを使用してください。
 - 本機と無線ユニットを接続する場合、接続ケーブルの長さは50mまで使用できます。ただし、外部機器を接続する場合は2本の接続ケーブルの合計を10m以内にしてください。
 - 接続ケーブルは、本機を設置してから接続してください。
 - 接続端子が引っ張られたりしないよう、設置後は接続ケーブルを固定してください。

各部の名称と機能

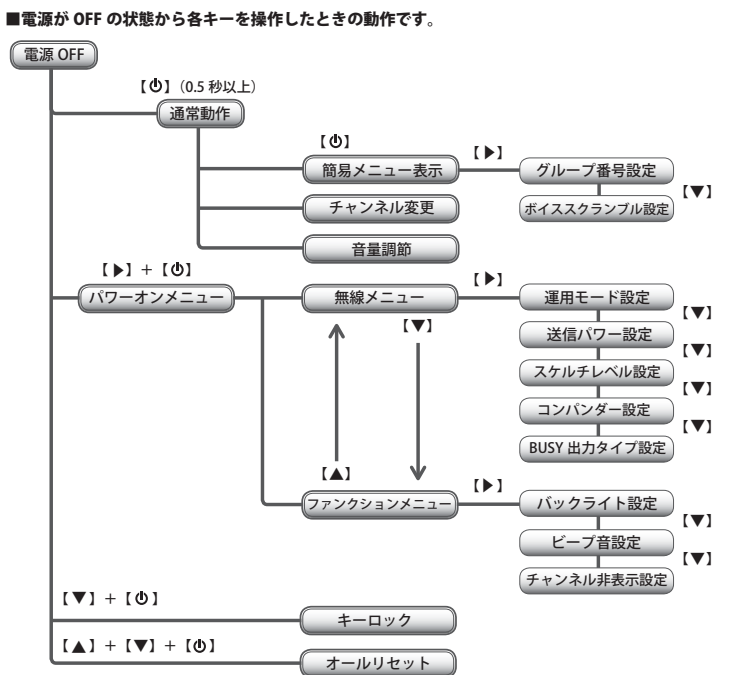


番号	名称	機能説明
①	表示部	本機の動作を表示します。
②	【 ⓪ 】キー	電源のON/OFFと、簡易メニューの各種設定を行うときに使用します。
③	【 ▲ 】キー	音量レベルを大きくしたり、メニューの設定を行うときに使用します。
④	【 ▼ 】キー	音量レベルを小さくしたり、メニューの設定を行うときに使用します。
⑤	【 ◀ 】キー	チャンネル番号をダウンしたり、メニューの設定を行うときに使用します。
⑥	【 ▶ 】キー	チャンネル番号をアップしたり、メニューの設定を行うときに使用します。
⑦	IN/OUT端子	無線ユニットを接続する端子です。
⑧	AUX端子	外部機器を接続する端子です。
⑨	SP/MIC端子	オプションのスピーカーマイクロホンを接続する端子です。
⑩	電源接続端子	付属のACアダプターを接続する端子です。
⑪	取付穴	本機を固定するための取付穴です。
⑫	機種銘板ラベル	本機の機種名を表記するラベルです。

AUX端子

ピンNo	端子名	I/O	機能
1	RXAF	O	受信音声出力（仕様内定格参照）
2	未使用	-	未使用
3	GND	-	グラウンド（基準電圧0V）
4	PTT	I	PTT入力（5Vプルアップ）GNDとショートで送信
5	AFGND	-	オーディオグラウンド（基準電圧0V）
6	TXAF	I	送信音声入力（仕様内定格参照）
7	未使用	-	未使用
8	BUSY	O	受信状態出力（出力電圧5V）

各キーの動作図



表示部

表示	機能説明
送信	送信中に表示します。
受信	受信中に表示します。
中継	運用モードが中継器アクセスモードに設定されているときに表示します。
秘	ボイススクランブル機能がONに設定されているときに表示します。
キ	キーロック機能がONに設定されているときに表示します。
L	ローパワー送信に設定されているときに表示します。
◀	設定画面で【◀】キーが有効なときに表示します。
▶	設定画面で【▶】キーが有効なときに表示します。

基本操作

■電源のON/OFF

1. 【**⓪**】を押す（0.5秒以上）
電源がONになり、チャンネル番号が表示されます。
2. 【**⓪**】を押す（1秒以上）
電源がOFFになり、表示が消えます。

■音量の調節（SP/MIC端子接続時）

1. 【**▲**】または【**▼**】を押す
【**▲**】を押すと音量が大きくなり、
【**▼**】を押すと音量が小さくなります。

設定値	動作	初期値
0～15	数値が大きすぎると音量が大きくなります。	7

■チャンネルの切り替え

1. 【**◀**】または【**▶**】を押す
【**◀**】を押すとチャンネル番号が下がり、
【**▶**】を押すとチャンネル番号が上がります。

運用モード	設定範囲
交互通話モード	CH1～CH11、CH11～CH19
中継器アクセスモード	CH1～CH18、CH11～CH19

●無線ユニットを接続していない状態で電源を入れた場合、表示部が右図のようなエラー表示になります。

●本機の音量は、SP/MIC端子に接続する、オプションのスピーカーマイクロホンの設定を調節するものです。
AUX端子に接続する外部機器の音量は変更できません。

パワーオンメニュー

メニューカテゴリ	設定項目	設定項目表示	設定値	初期値
無線メニュー	運用モード設定	MODE	SP / SdP	SP
	送信パワー設定	TXPWR	L / H	H
	スケルチレベル設定	SCL	off, 1, 2, 3	2
	コンバンダー設定	COMP	off / on	off
	BUSY出力タイプ設定	BUSY	off, CAR, SCL, GRP, on	SCL
ファンクションメニュー	バックライト設定	BLIT	off, Act, on	Act
	ピープ音設定	BEEP	off / on	on
	チャンネル非表示設定	CH---	off / on	off

■パワーオンメニューの操作

1. パワーオンメニューに入る
【**⓪**】を押して一度電源を切り、【**▶**】を押しながら【**⓪**】を押し、電源をONにします。
2. メニューカテゴリを選択する
【**▲**】または【**▼**】を押し、メニューカテゴリを選択します。
【**▶**】を押し、メニューカテゴリを確定します。
3. 設定項目を選択する
【**▲**】または【**▼**】を押し、設定項目を選択します。
【**▶**】を押し、設定項目を確定します。
4. 設定値を設定する
【**▲**】または【**▼**】を押し、設定値を選択します。
【**▶**】を押し、設定を確定します。
5. パワーオンメニューを終了する
【**◀**】を押してメニューカテゴリ選択画面に戻り、
【**⓪**】を押し、パワーオンメニューを終了します。

●パワーオンメニュー起動時のメニューカテゴリと設定項目選択時の設定項目は、前回設定を行った項目から開始します。

簡易メニュー

メニューカテゴリ	設定項目	設定項目表示	設定値	初期値
簡易メニュー	グループ番号設定	GRP	交互通話モード時：off, 1～38, 101～183 中継器アクセスモード時：off, 1～38	off
	ボイススクランブル設定	SCP	off / on	off

■簡易メニューの操作

1. 簡易メニューに入る
【**⓪**】を押す。
2. 設定項目を選択する
【**▲**】または【**▼**】を押し、設定項目を選択します。
【**▶**】を押し、設定項目を確定します。
3. 設定値を設定する
【**▲**】または【**▼**】を押し、設定値を選択します。
【**▶**】を押し、設定を確定します。
4. 簡易メニューを終了する
【**◀**】を押してメニューカテゴリ選択画面に戻り、
【**⓪**】を押し、パワーオンメニューを終了します。

■グループ番号設定

グループ番号を設定すると、同じグループ番号のトランシーバーでのみ通話ができます。

■ボイススクランブル設定

グループ番号を設定すると、ボイススクランブル機能が使用できません。ボイススクランブル機能がONに設定していないトランシーバーでは会話が聞き取れなくなります。ボイススクランブル設定をONにすると、表示部に 秘 が表示されます。

- 簡易メニュー起動時の設定項目は、前回設定を行った項目から開始します。
- ボイススクランブル設定をする前に、グループ番号を設定しておいてください。グループ番号を設定しないと、ボイススクランブル設定は表示されません。
- グループ番号をOFFにすると、ボイススクランブル設定もOFFになります。
- 設定値を確定しないまま10秒間何もキーを押さないと、簡易メニューが終了します。
- 運用モードが中継器アクセスモードに設定されているときは、チャンネル番号とグループ番号は中継器の設定と同じにします。
- チャンネル番号、グループ番号、ボイススクランブルの設定は、送信側と受信側の設定を合わせてください。全ての設定が合っていないと送受信ができません。
- グループ番号とボイススクランブル設定が一致した場合、第三者でも通信を傍受できます。

パワーオンメニュー

■運用モード設定
通信方法により運用モードを設定してください。

●交互通話モード（シンプレックス）
中継器を介さずに直接トランシーバー同士で通信するモードです。

●中継器アクセスモード（セミデュプレックス）
別売品の中継器を介して通信するモードです。

設定値	動作
SP	交互通話モードで通信します。
SdP	中継器アクセスモードで通信します。

■送信パワー設定

中継器アクセスモードの1ch～18chでは、送信出力を下げても連続送信することができます。「L」に設定すると送信パワーがローパワーの約1mWになり、「H」に設定すると送信がハイパワーの約10mWになります。「L」に設定すると、表示部に L が表示されます。

設定値	動作
L	送信出力1mWで送信を行います。
H	送信出力10mWで送信を行います。

■スケルチレベル設定

スケルチ（雑音消去回路）が解除（開く）されるレベルを設定します。スケルチレベルを下げると弱い電波でも受信しやすくなりますが、雑音が多くなります。逆に、スケルチレベルを上げると雑音は少なくなります、強い電波しか受信しなくなります。

■コンバンダー設定

雑音を抑えて、音声のみを明瞭にする機能です。使用する場所の周りが騒がしく、音声聞き取りにくい場合に設定します。この機能を使用するには、送信局側と受信局側双方がこの機能を設定する必要があります。

■BUSY出力タイプ設定

AUX端子のBUSY（受信状態）出力条件を設定します。

設定値	動作
off	出力しません。
CAR	信号を受信したときに出力します。
SCL	スケルチが働いたときに出力します。
GRP	グループ番号が一致したときに出力します。
on	常に出力します。

- 本機の一回の通信時間は、送信・受信合わせて3分間です。
- ローパワー送信での通信では、通話時間の制限はありません。
- 中継器アクセスモードのh1ch～h9chや交互通話モードでは送信出力を下げることはできません。